

事業名	教育委員会運営事業																
関連する重点施策	—																
事業の意図	教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律により設置が義務付けられており、教育行政の政治的中立性や政策決定、行政運営などを確保することを目的に設置されている合議制の行政委員会です。この教育委員会が円滑に運営できるように事務処理を行います。																
【主な実施内容】																	
<p>教育委員5名により本町の教育行政の政策決定及び行政運営を実施しました。</p> <p>(1) 定例会 12回（月1回）開催しました。</p> <table border="0"> <tr> <td>ア 議事</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>イ 議案</td> <td>58件</td> </tr> <tr> <td> (ア) 人事関係</td> <td>19件</td> </tr> <tr> <td> (イ) 予算関係</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td> (ウ) 条例、規則等</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td> (エ) 後援名義使用許可</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td> (オ) 表彰、褒賞等</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td> (カ) その他</td> <td>10件</td> </tr> </table> <p>(2) 臨時会 1回（4月）開催しました。 議事 1件</p> <p>(3) 総合教育会議 1回（2月）開催しました。</p>		ア 議事	0件	イ 議案	58件	(ア) 人事関係	19件	(イ) 予算関係	7件	(ウ) 条例、規則等	9件	(エ) 後援名義使用許可	5件	(オ) 表彰、褒賞等	8件	(カ) その他	10件
ア 議事	0件																
イ 議案	58件																
(ア) 人事関係	19件																
(イ) 予算関係	7件																
(ウ) 条例、規則等	9件																
(エ) 後援名義使用許可	5件																
(オ) 表彰、褒賞等	8件																
(カ) その他	10件																
【総合評価】																	
<p>教育委員会は、地方分権の進展による責任の増大、政治的中立性の確保、継続性・安定性の確保、地域住民の意向の反映、文化・スポーツの振興といった多くの課題を抱えています。</p> <p>このため、現場の意見に基づいた議論を行う必要があります。各種会議・行事等に参加し、意見交換や現地の状況を確認するなど、活発な活動を通じて引き続き教育行政の推進に努める必要があります。</p> <p>なお、児童生徒の保護者を含む町民に対して、開かれた教育委員会とするため、教育委員会の活動内容について情報を提供することが、ますます重要となってきています。</p>																	
【本年度（令和3年度）以降の改善内容・方向性】																	
今後も継続して実施していきます。																	

事業名	教育振興一般管理事業																																																											
関連する重点施策	(1)「生きる力」の育成 (3)学校、家庭、地域社会との連携 (7)児童生徒の安全指導																																																											
事業の意図	児童生徒の教育を受ける権利を保障するため就学関係事務を執行することにより、義務教育の円滑な運営を図ります。教育委員会内の他部署、学校及びその他教育機関の円滑な運営を支えています。																																																											
【主な実施内容】																																																												
<p>(1) 全ての学齢児童生徒が義務教育を受けるための学齢簿の整理、就学指導を行いました。</p> <p>(2) 教育委員会内の他部署、学校及びその他教育機関との連絡調整、予算・決算等庶務的事務を行いました。</p> <p>(3) 小学校の状況（令和2年5月1日現在）</p> <table border="1"> <tr> <td>ア 東郷小学校</td> <td>児童数</td> <td>464人、学級数</td> <td>19学級、教職員数</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>イ 春木台小学校</td> <td>児童数</td> <td>454人、学級数</td> <td>17学級、教職員数</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>ウ 諸輪小学校</td> <td>児童数</td> <td>377人、学級数</td> <td>15学級、教職員数</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>エ 音貝小学校</td> <td>児童数</td> <td>461人、学級数</td> <td>18学級、教職員数</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>オ 高嶺小学校</td> <td>児童数</td> <td>505人、学級数</td> <td>20学級、教職員数</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td>カ 兵庫小学校</td> <td>児童数</td> <td>587人、学級数</td> <td>22学級、教職員数</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>児童数</td> <td>2,848人、学級数</td> <td>111学級、教職員数</td> <td>204人</td> </tr> </table> <p>(4) 中学校の状況（令和2年5月1日現在）</p> <table border="1"> <tr> <td>ア 東郷中学校</td> <td>生徒数</td> <td>445人、学級数</td> <td>15学級、教職員数</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>イ 春木中学校</td> <td>生徒数</td> <td>705人、学級数</td> <td>25学級、教職員数</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>ウ 諸輪中学校</td> <td>生徒数</td> <td>269人、学級数</td> <td>10学級、教職員数</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>生徒数</td> <td>1,419人、学級数</td> <td>50学級、教職員数</td> <td>116人</td> </tr> </table> <p>(5) 各小中学校の校長による校長会を毎月1回開催し、連絡調整及び各種の取組みを協議・決定しました。</p> <p>(6) スクールソーシャルワーカー2名を学校教育課に配置しました。</p> <p>(7) 会計年度任用職員を配置しました。</p> <table border="1"> <tr> <td>ア 一般事務</td> <td>1名（学校教育課配置）</td> </tr> <tr> <td>イ 養護教諭補助員</td> <td>2名（小中学校巡回）</td> </tr> </table> <p>(8) 外国語指導助手（JETプログラム）を4名小中学校に配置しました。</p>		ア 東郷小学校	児童数	464人、学級数	19学級、教職員数	36人	イ 春木台小学校	児童数	454人、学級数	17学級、教職員数	31人	ウ 諸輪小学校	児童数	377人、学級数	15学級、教職員数	29人	エ 音貝小学校	児童数	461人、学級数	18学級、教職員数	30人	オ 高嶺小学校	児童数	505人、学級数	20学級、教職員数	39人	カ 兵庫小学校	児童数	587人、学級数	22学級、教職員数	39人	計	児童数	2,848人、学級数	111学級、教職員数	204人	ア 東郷中学校	生徒数	445人、学級数	15学級、教職員数	36人	イ 春木中学校	生徒数	705人、学級数	25学級、教職員数	52人	ウ 諸輪中学校	生徒数	269人、学級数	10学級、教職員数	28人	計	生徒数	1,419人、学級数	50学級、教職員数	116人	ア 一般事務	1名（学校教育課配置）	イ 養護教諭補助員	2名（小中学校巡回）
ア 東郷小学校	児童数	464人、学級数	19学級、教職員数	36人																																																								
イ 春木台小学校	児童数	454人、学級数	17学級、教職員数	31人																																																								
ウ 諸輪小学校	児童数	377人、学級数	15学級、教職員数	29人																																																								
エ 音貝小学校	児童数	461人、学級数	18学級、教職員数	30人																																																								
オ 高嶺小学校	児童数	505人、学級数	20学級、教職員数	39人																																																								
カ 兵庫小学校	児童数	587人、学級数	22学級、教職員数	39人																																																								
計	児童数	2,848人、学級数	111学級、教職員数	204人																																																								
ア 東郷中学校	生徒数	445人、学級数	15学級、教職員数	36人																																																								
イ 春木中学校	生徒数	705人、学級数	25学級、教職員数	52人																																																								
ウ 諸輪中学校	生徒数	269人、学級数	10学級、教職員数	28人																																																								
計	生徒数	1,419人、学級数	50学級、教職員数	116人																																																								
ア 一般事務	1名（学校教育課配置）																																																											
イ 養護教諭補助員	2名（小中学校巡回）																																																											
【総合評価】																																																												
<p>学校だけでは対応が困難な問題に対し、スクールソーシャルワーカーを配置し、問題解決の支援を行いました。しかし、児童生徒を取り巻く問題は様々あり、問題解決するまでには長期化するものもあります。1つでも多くの問題を解決するために、スクールソーシャルワーカーに負担が掛からないように事業を継続して実施していく必要があります。</p>																																																												
【本年度（令和3年度）以降の改善内容・方向性】																																																												
<p>スクールソーシャルワーカーへの相談件数が増加傾向にあり、また、内容も複雑化する中、スクールソーシャルワーカー1人当たりの負担が増していることから、1名増員して3名体制とします。。</p> <p>また、教員の働き方改革を推進するため、スクール・サポート・スタッフの導入を検討します。</p>																																																												

事業名	適応指導事業
関連する重点施策	(4)生徒指導の充実
事業の意図	不登校児童生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善等のための相談・学習指導・適応指導を行い、学校生活に復帰し自立できるように支援します。
【主な実施内容】	
<p>(1) 「ハートフル東郷」を開設しました。</p> <p>ア 指導員及び指導補助員を配置し、不登校児童生徒の自立を促すと同時に学校生活への適応を図るため、次の指導を行いました。</p> <p>(ア) 自分の言動に自信を持たせ、心の安定を図りました。</p> <p>(イ) 基本的な生活習慣の確立に向けた助言を通して、自立する力を養いました。</p> <p>(ウ) 対人関係の広がりを支援し、集団への適応力を育成しました。</p> <p>(エ) 個人に応じた学習活動を進め、学校生活への復帰を支援しました。</p> <p>イ 運営時間 午前9時から午後3時まで（月曜日から金曜日）</p> <p>ウ 通室者数 8人〔町内小中学校不登校児童生徒数95人（R2年度不登校児童生徒状況調査）〕</p> <p>(2) 不登校や不登校傾向の子どもを持つ保護者を対象に「ハートフル東郷親の会」を開催しました。</p>	
【総合評価】	
ハートフル東郷に通室している児童生徒を含め、不登校の児童生徒に対し、学校生活へ復帰ができるよう引き続き家庭、学校、地域などと連携を密にしながら支援していく必要があります。	
【本年度（令和3年度）以降の改善内容・方向性】	
今後も継続して実施していきます。	

事業名	生徒指導事業
関連する重点施策	(4)生徒指導の充実
事業の意図	学校を中心に家庭や地域社会との連携を密にした指導を行うとともに、生徒が気軽に悩みを話せる環境をつくり、児童生徒自身が不安や悩みを軽減したり、解消したりできるようにします。
【主な実施内容】	
<p>(1) 生徒指導推進協議会 3中学校の生徒指導推進協議会へ負担金を交付し、各中学校区内における地域との情報交換会・街頭指導・非行防止の啓発活動を行いました。</p> <p>(2) スクールカウンセラー ア 【小学校】 6小学校に計2名のスクールカウンセラーが愛知県から配置され、児童等からの相談を受けました。(児童等相談件数 311件 参考：R元年度419件、H30年度391件、H29年度333件、H28年度542件) 年間相談時間 416時間 (208時間×2人) イ 【中学校】 3中学校に1名ずつ計3名のスクールカウンセラーが愛知県から配置され、生徒等からの相談を受けました。(生徒等相談件数 594件 参考：R元年度626件、H30年度833件、H29年度1217件、H28年度917件) 年間相談時間 624時間 (208時間×3人)</p> <p>(3) 心の教室相談員 3中学校に計7名(東郷中学校1名、春木中学校4名、諸輪中学校2名)の心の教室相談員を配置し、生徒等が気軽に相談できる環境を整備しました。 生徒等相談件数 369件 勤務時間数 東郷中学校 145時間、春木中学校 252時間、諸輪中学校 432時間</p> <p>(4) スクールサポーター 不登校傾向又は軽度発達障がい等で集団での授業に参加できない児童生徒及びその他の教育活動に支援を必要としている児童生徒に対し、将来教職に就きたいと考えている大学生を小中学校に合計4名配置しました。 勤務日数 小学校77日、中学校24日</p>	
【総合評価】	
児童生徒の問題行動の発生を事前に把握することは難しいですが、スクールカウンセラーに加え、お兄さん、お姉さんの立場の心の教室相談員を配置し、児童生徒がいつでも気軽に相談できる体制が整備され、多くの相談がありました。また、教職を目指す学生にスクールサポーターとして協力してもらい、児童生徒にとってより良い学校生活となるため支援していきます。	
【本年度(令和3年度)以降の改善内容・方向性】	
今後も継続して実施していきます。	

事業名	高等学校等教育振興事業
関連する重点施策	—
事業の意図	保護者負担を軽減し、公私立高等学校及び専修学校間における授業料の格差を是正します。
【主な実施内容】	
令和2年10月1日時点で私立高等学校等に生徒が在籍しており、かつ同日時点で町内に在住している保護者に対して、生徒1人当たり年額10,000円を補助しました。 (1) 補助実施生徒数 383人 (2) 在籍学校数 90校	
【総合評価】	
今後も授業料の格差を是正するために本事業を継続する必要があります。	
【本年度（令和3年度）以降の改善内容・方向性】	
今後も継続して実施していきます。	

事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業
関連する重点施策	—
事業の意図	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るとともに、不安を抱える児童生徒の心のケアに取り組むことで、全児童生徒が安心して学校生活を送られるようにします。
【主な実施内容】	
<p>(1) 熱中症対策 学校臨時休業が続いたことにより、授業時間を確保するため、夏季休業期間を短縮しました。猛暑の登下校及び授業中における熱中症を防ぐため、全児童生徒に対し、ペットボトル飲料（お茶）を配布しました。</p> <p>(2) 心の教室相談員 6小学校に各1名、計6名の心の教室相談員を配置し、児童等が気軽に相談できる環境を整備しました。 児童等相談件数 316件 勤務時間数 東郷小学校 68時間、春木台小学校 88時間、諸輪小学校 176時間 音貝小学校 153時間、高嶺小学校 293時間、兵庫小学校 138時間</p> <p>(3) 感染症対策品購入 各学校における感染症の感染拡大防止のため、手指消毒液、ビニール手袋等を購入しました。</p>	
【総合評価】	
<p>学校臨時休業及び学校の各種行事が延期または中止になる等、これまでに経験したことが無い学校運営が求められる中、その影響を最も受ける児童生徒の心のケアに取り組むことができました。 小学校への心の教室相談の配置は、以前から検討課題としてきたこともあり、今後も継続して実施できるよう検討していきます。</p>	
【本年度（令和3年度）以降の改善内容・方向性】	
新型コロナウイルス感染症が収束するまで、引き続き、学校での感染症対策に取り組めます。	

事業名	小中学校保健事業
関連する重点施策	(1)「生きる力」の育成
事業の意図	疾病の早期発見と健康指導の徹底を図り、健康で健やかな学校生活を送れるようにします。
【主な実施内容】	
<p>1 小中学校保健一般事業</p> <p>(1) 児童生徒健診（小学校2,848人、中学校1,419人） 尿（2回）、心電図（小学校1・4年生、中学校1年生）、血液検査（中学校2年生）、胸部X線（結核精密検査該当者）</p> <p>(2) 教職員健診（小学校189人、中学校112人） 胃（35歳以上）、尿、胸部X線（結核）、血液、心電図、大腸がん、B型肝炎、内科、眼底（35歳以上）</p> <p>(3) 産業医の委託（春木中1名）</p> <p>2 小中学校学校医等設置事業</p> <p>(1) 学校医 内科検診（児童生徒、教職員）と就学時健診（小学校入学前） 眼科分（小学校2・3・5・6年生、中学校2・3年生）と就学時健診（小学校入学前）</p> <p>(2) 歯科医 歯科検診（児童生徒）と就学時健診（小学校入学前）</p> <p>(3) 耳鼻科医 耳鼻科検診（小学校1・4年生、中学校1年生）</p> <p>(4) 眼科医 眼科検診（小学校1・4年生、中学校1年生）</p> <p>(5) 薬剤師 環境測定</p>	
【総合評価】	
<p>健康診断により疾病・異常を早期に発見し、予防措置を施し、治療に役立っています。今後も学校保健安全法等に基づき継続していく必要があります。</p> <p>また、残業時間が100時間を超える教職員が、医師による面接を受診できる体制を整えました。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のためプールの実施がなくなったため、それに伴い薬剤師の水質検査は実施しませんでした。</p>	
【本年度（令和3年度）以降の改善内容・方向性】	
<p>血液検査（中学校2年生）の検査項目に血糖を追加し、生活習慣予防に役立っています。</p> <p>その他は、今後も継続して実施していきます。</p>	

事業名	小中学校維持管理事業
関連する重点施策	(8)学校施設等の整備
事業の意図	施設の機能を適正に維持することで、安全で快適に利用できるようにします。
【主な実施内容】	
<p>(1) 小中学校一般維持管理費 学校の健全かつ正常な運営が損なわれないように機能維持を図りました。</p> <p>ア 小中学校施設の維持管理、機械設備の保守点検（小学校24件、中学校19件）を実施しました。</p> <p>①学校施設警備業務 ②自家用電気工作物保守点検業務 ③昇降機保守点検業務 ④消防用設備等保守点検業務 ⑤浄化槽保守点検業務 ⑥ごみ収集運搬業務 ⑦濾過装置保守点検業務 ⑧学校植栽維持管理業務 ⑨学校施設清掃業務 ⑩兵庫小学校維持管理業務 ⑪遊具体育用具保守点検業務 ⑫体育館ワックス塗布 など</p> <p>イ 小中学校に会計年度任用職員を配置しました。</p> <p>①学校用務員（小学校6人、中学校3人）、②学校給食配膳員（小学校3人、中学校3人） ③非常勤講師（小学校6人、中学校6人）、④学級運営改善対応員（小学校28人、中学校4人） ⑤学校生活介助員（小学校21人、中学校5人）、 ⑥学校図書館司書教諭補助員（小学校6人、中学校3人）</p> <p>(2) 小中学校施設改修費 学校の老朽化や管理運営上必要となる施設設備の補修、修繕、改修工事等を実施しました。</p> <p>ア 特別教室等空調設備整備工事（全小中学校） イ 特別教室等空調設備整備工事監理業務（全小中学校） ウ 情報設備整備工事設計業務（全小中学校） エ 情報設備整備工事（全小中学校） オ 情報設備整備工事監理業務（全小中学校） カ 屋内用防火シャッター改修工事（音貝小学校） キ プール鉄骨補修工事（東郷中学校） ク 屋上防水補修工事 ほか</p>	
【総合評価】	
<p>前年度の普通教室に続き、全小中学校の特別教室等に空調設備を整備し、熱中症対策を行いました。また、全小中学校に情報設備の整備を行いました。今後、老朽化の進む施設の更新、改修に係る工事費等の急増が見込まれるため、平成29年度に策定した長寿命化計画に沿って修繕を行う必要があります。</p>	
【本年度（令和3年度）以降の改善内容・方向性】	
<p>施設の改修を計画的に進めていく中で、諸輪小学校の多目的トイレの整備、洋式化等のバリアフリー化工事を行います。また、東郷小学校では、屋上防水改修工事及び防火設備の改修工事を実施し、春木台小学校では、防火設備改修工事を実施します。</p>	

事業名	小中学校運営事業																																				
関連する重点施策	(1)「生きる力」の育成 (2)基本的な生活習慣の定着と道徳教育の充実 (3)学校、家庭、地域社会との連携 (6)情報化、国際化に対応した教育の推進																																				
事業の意図	小中学校の運営に必要な公費で負担すべき経費を支出し、教育の機会均等と教育水準の維持向上を図ります。																																				
【主な実施内容】																																					
<p>(1) 教科用消耗品の購入、教材備品の購入・修理、外部講師の謝礼、部活動に対する補助を行いました。</p> <p>(2) 学校評議員を37名委嘱し、学校評議員会を年間延べ18回開催し、延べ71人が出席しました。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">東郷小学校</td> <td style="width: 10%;">4名</td> <td style="width: 10%;">3回</td> <td style="width: 25%;">東郷中学校</td> <td style="width: 10%;">5名</td> <td style="width: 10%;">2回</td> </tr> <tr> <td>春木台小学校</td> <td>4名</td> <td>0回</td> <td>春木中学校</td> <td>4名</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>諸輪小学校</td> <td>4名</td> <td>2回</td> <td>諸輪中学校</td> <td>4名</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>音貝小学校</td> <td>5名</td> <td>3回</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高嶺小学校</td> <td>3名</td> <td>2回</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>兵庫小学校</td> <td>4名</td> <td>2回</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(3) 外国人英語指導業務 1人の外国人の指導助手を週代わりで小学校に配置しました。</p>		東郷小学校	4名	3回	東郷中学校	5名	2回	春木台小学校	4名	0回	春木中学校	4名	2回	諸輪小学校	4名	2回	諸輪中学校	4名	2回	音貝小学校	5名	3回				高嶺小学校	3名	2回				兵庫小学校	4名	2回			
東郷小学校	4名	3回	東郷中学校	5名	2回																																
春木台小学校	4名	0回	春木中学校	4名	2回																																
諸輪小学校	4名	2回	諸輪中学校	4名	2回																																
音貝小学校	5名	3回																																			
高嶺小学校	3名	2回																																			
兵庫小学校	4名	2回																																			
【総合評価】																																					
総合的な学習の時間などで地域社会との交流、国際理解などの学校単位での特色ある学習が増えてきています。また、地域に開かれた学校づくりを一層推進し、保護者や地域住民の協力を得て、学校運営に関する意見を広く求めながら、学校としての説明責任を果たしていくために学校評議員制度を今度も活用していく必要があります。																																					
【本年度（令和3年度）以降の改善内容・方向性】																																					
令和2年度及び令和3年度からの教科書改訂において、不足している教員用指導書や教材備品を各学校の状況を見ながら、整備していきます。																																					

事業名	小中学校図書館整備事業										
関連する重点施策	(1)「生きる力」の育成 (8)学校施設等の整備										
事業の意図	各学校の蔵書数を文部科学省の定める学校図書館図書標準冊数まで引き上げ、学校図書館の充実を図り、児童の本に触れる機会を増やすことにより、読書を通じた情報収集能力や読書を通して感じたことを人に伝える楽しさなど、読書の持つ本来の楽しさが理解できるようにします。										
【主な実施内容】											
(1) 蔵書状況											
	購入	廃棄	蔵書数	標準冊数	充足率						
東郷小学校	232冊	228冊	10,760冊	10,560冊	102%						
春木台小学校	254冊	366冊	10,160冊	9,960冊	102%						
諸輪小学校	226冊	425冊	9,678冊	9,160冊	106%						
音貝小学校	419冊	500冊	10,924冊	10,360冊	105%						
高嶺小学校	563冊	164冊	12,035冊	10,760冊	112%						
兵庫小学校	247冊	40冊	12,080冊	11,160冊	108%						
計	1,941冊	1,723冊	65,637冊	61,960冊							
東郷中学校	633冊	959冊	13,176冊	12,160冊	108%						
春木中学校	429冊	124冊	16,229冊	15,840冊	102%						
諸輪中学校	352冊	592冊	9,524冊	9,600冊	99%						
計	1,414冊	1,675冊	38,929冊	37,600冊							
(2) 年間貸出冊数											
東小	春小	諸小	音小	高小	兵小	計	東中	春中	諸中	計	
6,500	4,446	11,671	11,289	7,865	15,140	56,911	1,318	7,097	905	9,320	
【総合評価】											
総合的な学習の時間など、様々な分野の学習が求められており、学校図書館の充実及びより広範囲な図書の選定などが求められています。また、本に親しむことは、心豊かな児童を育てる上で欠かせない要素であり、今後も標準冊数を維持できるように計画的な整備を実施していく必要があります。											
【本年度（令和3年度）以降の改善内容・方向性】											
学校教育環境の整備・充実を図るために、学校図書室の貸出事務の電算化を検討します。											

事業名	小中学校特別支援教育奨励事業					
関連する重点施策	(1)「生きる力」の育成					
事業の意図	障がいのある児童生徒の保護者の経済的負担の軽減を図ります。					
【主な実施内容】						
特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、学校に係る経費の一部を支給しました。						
(1) 支給人数 小学校53人、中学校23人						
(2) 支給費目 学用品費、学校給食費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費						
(3) 費目別支給金額						
	区分	学用品費	学校給食費	新入学用品費	校外活動費	修学旅行費
	小学校	248,340円	778,510円	179,245円	27,615円	77,084円
	中学校	207,570円	351,000円	173,940円	30,178円	53,863円
【総合評価】						
教育基本法、学校教育法、特別支援学校への就学奨励に関する法律に基づき事業を実施しています。この制度について、正確に保護者に周知する必要があります。						
【本年度（令和3年度）以降の改善内容・方向性】						
特にありません。						

事業名	小中学校就学援助事業																																		
関連する重点施策	(1)「生きる力」の育成																																		
事業の意図	経済的な事情により就学困難な児童生徒の保護者を援助することにより、すべての児童が安心して義務教育を受けることができるようにします。																																		
【主な実施内容】																																			
<p>町立小中学校の保護者からの申請に基づき、就学困難な世帯と認定された保護者に対し、就学に必要な費用を援助しました。</p> <p>また、令和3年度小学校入学予定者及び中学校入学予定者に対し、新入学用品費を入学前に支給しました。</p> <p>(1) 支給人員 小学校146人（うち、10人は令和3年度小学校入学予定者）、中学校84人</p> <p>(2) 支給費目 学用品費、通学用品費、学校給食費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、卒業アルバム等購入費、PTA会費</p> <p>(3) 費目別支給金額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①学用品費</td> <td>1,392,720円</td> <td>1,758,070円</td> </tr> <tr> <td>②通学用品費</td> <td>226,980円</td> <td>109,690円</td> </tr> <tr> <td>③学校給食費</td> <td>3,694,570円</td> <td>2,421,840円</td> </tr> <tr> <td>④新入学用品費</td> <td>255,300円</td> <td>240,000円</td> </tr> <tr> <td>⑤校外活動費</td> <td>347,095円</td> <td>557,260円</td> </tr> <tr> <td>⑥修学旅行費</td> <td>408,418円</td> <td>530,451円</td> </tr> <tr> <td>⑦卒業アルバム等購入費</td> <td>221,320円</td> <td>251,250円</td> </tr> <tr> <td>⑧PTA会費</td> <td>154,700円</td> <td>111,450円</td> </tr> <tr> <td>⑨生徒会費</td> <td>—</td> <td>31,815円</td> </tr> <tr> <td>⑨入学前支給</td> <td>1,890,600円</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>			区分	小学校	中学校	①学用品費	1,392,720円	1,758,070円	②通学用品費	226,980円	109,690円	③学校給食費	3,694,570円	2,421,840円	④新入学用品費	255,300円	240,000円	⑤校外活動費	347,095円	557,260円	⑥修学旅行費	408,418円	530,451円	⑦卒業アルバム等購入費	221,320円	251,250円	⑧PTA会費	154,700円	111,450円	⑨生徒会費	—	31,815円	⑨入学前支給	1,890,600円	—
区分	小学校	中学校																																	
①学用品費	1,392,720円	1,758,070円																																	
②通学用品費	226,980円	109,690円																																	
③学校給食費	3,694,570円	2,421,840円																																	
④新入学用品費	255,300円	240,000円																																	
⑤校外活動費	347,095円	557,260円																																	
⑥修学旅行費	408,418円	530,451円																																	
⑦卒業アルバム等購入費	221,320円	251,250円																																	
⑧PTA会費	154,700円	111,450円																																	
⑨生徒会費	—	31,815円																																	
⑨入学前支給	1,890,600円	—																																	
【総合評価】																																			
<p>学校教育法、就学困難な児童及び生徒に係る就学奨励についての国の援助に関する法律に基づき事業を実施しています。経済的な理由によって就学困難な児童の保護者に対し、必要な援助をすることにより、義務教育就学の円滑化を図ることができるため、今後も継続していく必要があります。</p> <p>今後も引き続き、本事業の主旨について、全保護者に対し周知していく必要があります。</p>																																			
【本年度（令和3年度）以降の改善内容・方向性】																																			
<p>申請手続きの簡素化を進めます。</p> <p>また、オンライン学習に必要な通信費を就学援助対象経費に追加し、援助をします。</p>																																			

事業名	小中学校情報教育推進事業
関連する重点施策	(6)情報化、国際化に対応した教育の推進 (8)学校施設等の整備
事業の意図	全小中学校のコンピュータ教室の児童用コンピュータを効果的に利用できる状態とし、校内LANにより各教室で児童生徒がコンピュータを利用し学ぶことができる環境を整備して、情報教育を推進します。
【主な実施内容】	
<p>全小中学校の児童生徒に1人1台のタブレットを整備して情報教育を推進しました。</p> <p>(1) 学習用タブレット端末の購入 (小学校2,848台、中学校1,419台)</p> <p>(2) 学習用タブレット端末の導入促進 GIGAスクールサポーター (小学校1名、中学校1名)</p> <p>(3) 学習用タブレット端末の授業での利用及びドリル学習 学習支援ソフトウェア</p> <p>(4) 学習用タブレット端末を家庭で利用できる環境 家庭学習用モバイルルーター (小学校73台、中学校33台)</p> <p>(5) 安全に情報へアクセスできる環境</p> <p>ア インターネットプロバイダへの接続</p> <p>イ ファイアウォールによる外部からの侵入の防御</p> <p>ウ インターネットフィルタリングシステムの利用によるアクセス制限</p> <p>エ ウイルス対策ソフトウェアの導入</p>	
【総合評価】	
GIGAスクール構想の実現に向けて、タブレット端末を積極的に活用した授業を推進する必要があります。また、新学習指導要領に基づいたタブレット端末を使った効果的な授業に関する研修について、ICT支援員を積極的かつ効果的に活用する必要があります。	
【本年度（令和3年度）以降の改善内容・方向性】	
<p>今後は、家庭学習においても、タブレット端末に導入した学習支援ソフト等を活用し、学校の臨時休校等非 常時等においても学びを保障するための検討をする必要があります。</p>	

事業名	社会教育振興事業・各種教室開催事業
関連する重点施策	(1) 生涯学習活動の充実
事業の意図	1 社会教育振興事業 生涯学習関連事業の情報を各家庭で容易に入手できるようにします。 2 各種教室開催事業 興味のある教室・講座を受講し、自身の生涯学習を推進することによって人生を豊かにします。
【主な実施内容】	
1 社会教育振興一般事務事業 (1) 生涯学習情報誌「ジョイフル」の刊行（年2回） 印刷部数：2020 秋号 休刊 2021 春号 18,600 部 (2) 「東郷の教育」の刊行（年1回） 印刷部数：100 部 (3) 生涯学習講座の講師登録者数 前年から6人増加し、234人になりました。 2 各種教室開催事業 各種教室数 1 教室 年間受講者延べ人数 90 人	
【総合評価】	
1 社会教育振興事業 新型コロナウイルス感染症の影響で、講座やコンサートが計画できず「ジョイフル」秋号は休刊しました。 「東郷の教育」については、教育委員会の1年間の事業等の記録を作成し、価値のある資料を作成することができました。 2 各種教室開催事業 各種教室については、コロナ禍において1教室開催することができました。 町民のニーズにあった講座を企画できるよう、情報収集等に努める必要があります。	
【本年度（令和3年度）以降の改善内容・方向性】	
町民のニーズを把握し、幅広いジャンルの講師を招いて教室を実施していきます。	

事業名	青少年健全育成事業・家庭教育等推進事業
関連する重点施策	(2) 青少年の健全育成と家庭教育の充実
事業の意図	<p>1 青少年健全育成事業 東郷町の将来を担う青少年が健全に育ち社会に貢献できるよう、各地区の青少年健全育成地区会が中心となって活動するための情報交換の場づくりを進めます。</p> <p>2 家庭教育等推進事業 家庭教育や子育てに関する情報交換の場を提供し、親同士の連帯を深め、子育ての不安を解消します。</p>
【主な実施内容】	
<p>1 青少年健全育成事業</p> <p>(1) 青少年健全育成推進事業 各地区における青少年健全育成事業に対する補助金交付、情報交換、優良青少年・指導者及び団体の表彰、啓発資材の作成及び配布を実施しました。</p> <p>ア 優良青少年・指導者及び団体の表彰（令和2年11月3日表彰式） 青少年の部 20人 青少年指導者の部 3人 青少年団体の部 なし</p> <p>イ 啓発資材作成及び掲示（11月中） のぼり</p> <p>(2) 少年補導委員事業 少年補導員7人による放課後等における少年少女の非行防止活動を行いました。（10日程度/月）</p> <p>2 家庭教育等推進事業 家庭教育推進連絡協議会を開催するとともに、各小学校の家庭教育推進委員会において教育講演会や親子ふれあい講座等を企画・実施しました。</p>	
【総合評価】	
<p>1 青少年健全育成事業 優良青少年・指導者等の表彰式を11月の第1日曜日とし、中学校及び高校の試験期間と重ならないように開催しました。</p> <p>2 家庭教育等推進事業 6小学校でそれぞれ工夫し開催することで、講座を通して親同士の交流や家庭教育に関する情報交換を行う機会となっています。</p>	
【本年度（令和3年度）以降の改善内容・方向性】	
<p>青少年の健全育成に関わる方々を幅広く推薦していただくため、青少年健全育成会の地区長からのみであった顕彰者の推薦について、役員からも推薦いただけるよう検討します。</p>	

事業名	公民館文化ふれあい事業・音楽祭開催事業 町民会館文化ふれあい事業・文化団体育成事業
関連する重点施策	(3) 文化・芸術の振興
事業の意図	<p>1 公民館文化ふれあい事業 身近な公民館で優れた音楽芸術、舞台芸術、文化講演などに頻繁にふれあう機会を提供するとともに、地域の芸術文化の質を向上していきます。</p> <p>2 音楽祭開催事業 町内を中心に活動するプロやアマチュア音楽家、音大生に日頃の練習の成果を発表する機会をつくとともに、町民が演奏を楽しみ、心のゆとりを作ります。プロ主体・鑑賞型の「コンサートへの誘い」と合わせて豊かな芸術文化環境をつくります。</p> <p>3 町民会館文化ふれあい事業 町民会館という身近なホールで日常的に公演を実施し、上質な舞台芸術と頻繁にふれあう機会づくりを進めて、地域の芸術文化のレベルアップを図ります。</p> <p>4 文化団体育成事業 団塊世代の余暇時間の増加、自己実現意識の向上に対応し、生涯学習の一環である文化活動に多くの町民が参加できるよう、文化団体の活動を支援し、その活動を活性化します。</p>
【主な実施内容】	
<p>1 公民館文化ふれあい事業</p> <p>(1) コンサートへの誘い 第78回 木嶋真優ヴァイオリンリサイタル</p> <p>(2) レクチャー・ミニコンサート 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。</p> <p>(3) 町民大学講座（ミニ文化講演会） 1回開催（ほかの講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。）</p> <p>2 音楽祭開催事業 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3部とも中止しました。</p> <p>(1) 合唱の部</p> <p>(2) 吹奏楽の部</p> <p>(3) ソロ・アンサンブルの部</p> <p>3 町民会館文化ふれあい事業 身近な町民会館で生の舞台芸術に触れる事業を実施しました。 藤山道三・SINSKE～尺八とマリンバによる世界最小のオーケストラ</p> <p>4 文化団体育成事業</p> <p>(1) 文化協会育成推進事業 文化協会の運営活動に助言・支援を行いました。</p> <p>ア 加盟団体数 25 団体</p> <p>イ 各部の活動回数 270 回</p> <p>(2) 東郷音頭保存会育成事業 東郷音頭、東郷小唄を永年に保存するとともに、広く町民に普及をさせるために活動を行っている東郷音頭保存会へ補助金を交付しました。</p> <p>ア 会員数 82 人</p> <p>イ 自主活動回数 10 回</p> <p>※伝統文化こども教室は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。</p>	

【総合評価】

- 1 公民館文化ふれあい事業
コンサートへの誘いは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、座席数を制限して開催しました。
レクチャー・ミニコンサートは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止しました。
- 2 音楽祭開催事業
第29回合唱祭in TOGOは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止としましたが、町民が日頃の成果を発表できる機会の一つとして、今後も引き続き音楽祭を開催していきます。
- 3 町民会館文化ふれあい事業
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、演劇、講演会を中止としましたが、今後も様々な芸術文化に触れていただけるよう、事業を企画していきます。
- 4 文化団体育成事業
文化協会では、今後も各部が活発に活動していけるよう、若い世代の加入を促し、後継者を育成することが必要です。

【本年度（令和3年度）以降の改善内容・方向性】

新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、事業や活動を再開していきます。

事業名	歴史民俗資料事業
関連する重点施策	(5) 郷土資料館の充実
事業の意図	町の貴重な考古・歴史・民俗資料を収集、調査・整理、活用のために公開し、多くの町民に東郷町の歴史・文化財に触れる機会を提供していきます。
【主な実施内容】	
<p>歴史民俗一般管理事業</p> <p>(1) 郷土資料館・昔体験館の活用 郷土資料館・昔体験館を常時開催し、絵や写真を活用して郷土の歴史・文化をわかりやすく展示しました。また、昔体験館には、大型モニターで昔のことを思い出させる映像を流し、回想法による認知症予防の1つとして活用しました。</p> <p>(2) 郷土資料館・昔体験館ガイドツアー 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。 ア 郷土資料館 常設展示の説明 イ 昔体験館 アニメ映像で昔の暮らしの説明</p> <p>(3) 新収蔵品 民俗資料 東光寺瓦、ミシン、木刀、算盤、棹秤、重箱、膳箱ほか</p> <p>(4) 常設展示 ア 模造民家一室 イ 大正、昭和期の生活用具 ウ 農具 エ 漁具 オ 養蚕具 カ 祐福寺本堂棟瓦 キ 軒瓦、鬼瓦各種</p>	
【総合評価】	
収蔵品を十分に活用するためには、資料の整理と検索性の向上が必要です。	
【本年度（令和3年度）以降の改善内容・方向性】	
収蔵品の整理を進め、広く活用していただけるようにします。また、適宜常設展示の入替えを行うとともに、企画展の実施についても検討していきます。	

事業名	文化財保護事業
関連する重点施策	(6) 文化財の保護と継承
事業の意図	町内の文化財を広く町民に周知するとともに、貴重な文化財を後世に伝承できるように保存していきます。
【主な実施内容】	
<p>文化財保護事業</p> <p>(1) 文化財保護委員会関係事業 町内にある文化財の大切さを町民に広く周知するとともに、貴重な文化財を後世に伝承できるよう文化財保護委員会を年1回開催しました。 また、町指定文化財管理状況の視察を行いました。</p> <p>(2) 文化財講座等事業 ア 文化財めぐり 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。 イ 歴史講座 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。</p> <p>(3) 文化財保存事業 ア 町指定無形民俗文化財の保存及び伝承育成のため、活動に対し補助を行いました。 イ 県指定文化財である祐福寺一里塚の草刈りを年3回実施しました。 ウ 町指定無形文化財の備品修理に対し補助を行いました。</p> <p>(4) その他 伝統文化発表会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。</p>	
【総合評価】	
<p>後世まで文化財を残すために、適切に管理・保護していく必要があります。</p> <p>また、東郷町の歴史を紡いでいくため、当時をよく知る方から、当時の暮らしやまちの様子などについて聞き取り調査等を行うことも重要です。</p>	
【本年度（令和3年度）以降の改善内容・方向性】	
<p>歴史や文化財、郷土に興味を持っていただくことは、文化財保護につながると考えられるため、文化財保護委員と協力しながら、講座の開催や聞き取り調査等を行っていきます。</p>	

事業名	図書館管理運営事業
関連する重点施策	(7) 図書館活動の推進
事業の意図	生活に密着した情報収集及び学習の場として利用したいときに気軽に立ち寄り、子どもから高齢者まで町民のみならず多くの方々が図書資料に親しむことができるような図書館とします。
【主な実施内容】	
<p>(1) 図書館管理運営事業</p> <p>ア 図書館法第 14 条に基づく図書館協議会を開催し、図書館運営に関する意見を拝聴しました。</p> <p>(7) 図書館協議会委員数 8 人</p> <p>(4) 図書館協議会開催回数 年 1 回</p> <p>イ 図書館の利用状況</p> <p>(7) 図書館開館日数 201 日</p> <p>(4) 利用者数 15,655 人</p> <p>(5) 入館者数 34,606 人</p> <p>(6) 貸出冊数 72,632 冊</p> <p>ウ 図書館の蔵書数 計 126,358 冊</p> <p>(7) 一般書 76,620 冊</p> <p>(4) 児童書 38,196 冊</p> <p>(5) 参考資料 805 冊</p> <p>(6) 郷土資料 4,405 冊</p> <p>(4) 点字資料 332 冊</p> <p>(5) 紙芝居 1,246 冊</p> <p>(6) ビデオ・DVD 464 冊</p> <p>(7) 雑誌 4,290 冊</p> <p>エ 新型コロナウイルスの影響で思うように外出できない小学生を対象に、図書の宅配サービスを実施しました。</p> <p>(2) 指定管理者制度</p> <p>ア 平成 30 年度からの基本協定に基づき、指定管理者による施設運営管理を実施しました。</p> <p>(7) 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社</p> <p>(4) 指定期間 平成 30 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで</p> <p>(3) 指定管理者運営連絡会議</p> <p>東郷町施設サービス株式会社と指定管理事業について協議しました。</p> <p>毎月 1 回開催</p>	
【総合評価】	
ららぽーと愛知東郷内の LivR TOGO で予約図書の貸出、返却を始めました。	
【本年度（令和 3 年度）以降の改善内容・方向性】	
新型コロナウイルス感染防止対策を実施しながら、図書館サービスを実施していきます。	

事業名	各種スポーツ教室開催事業・レガッタ振興事業
関連する重点施策	(8) スポーツの普及・振興
事業の意図	ボート競技を通じて、町民の健康の保持・増進と体力向上が図られるようにするとともに、ボート競技の普及と活力ある町づくりを目指します。そして、「ボートのまち東郷」を全国に発信し、全国の人々とのふれあいを創出します。
【主な実施内容】	
<p>1 各種スポーツ教室開催事業</p> <p>(1) ボート体験会（ナックルフォア） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。</p> <p>(2) ボート教室（ナックルフォア） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。</p> <p>(3) 日本代表が教えるボート教室 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。</p> <p>(4) 高嶺小学校 ボート体験学習 高嶺小学校の総合的な学習の時間において、ボート体験学習を実施しました。 3回開催（11月2日・12月2日・3日） 延べ参加人数 96人（高嶺小学校6年生）</p> <p>2 町民レガッタ開催事業 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。</p>	
【総合評価】	
<p>1 各種スポーツ教室開催事業 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの各種教室を中止としましたが、高嶺小学校のボート体験学習を実施することができ、少しでもボートに親しんでもらうことができました。</p> <p>2 町民レガッタ開催事業 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。</p>	
【本年度（令和3年度）以降の改善内容・方向性】	
<p>新型コロナウイルス感染対策を講じながら、本町の特色であるボートを活用して、より多くの子ども達にスポーツを体験して楽しんでもらえるような企画を立案し、スポーツ人口の裾野の拡大を図ります。</p> <p>町民レガッタは、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の観点で、開催方法を検討する必要があります。</p>	

事業名	スポーツ団体育成事業・スポーツ等指導者育成事業・スポーツ事業開催事業
関連する重点施策	(8) スポーツの普及・振興
事業の意図	<p>スポーツ団体の育成が図られ、活発に活動できるようにするとともに、スポーツを始める機会づくりから競技スポーツの育成を図る中で、スポーツ志向率を高めます。</p> <p>スポーツ推進委員と体力づくり推進委員の資質向上を通じて、生涯学習としてのスポーツの普及と振興を図ります。</p> <p>レクリエーションスポーツの普及が図られ、多くの方々にスポーツの楽しさを知ってもらえるようにします。</p>
【主な実施内容】	
<p>1 スポーツ団体育成事業 下記団体の活動と大会の開催支援のため補助金を交付しました。</p> <p>(1) 東郷町スポーツ協会 ア 加盟団体数 16 団体 年間行事開催数 合計 18 回 イ スポーツイベント「とうごう体操まつり 2020」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。</p> <p>(2) 東郷町ボート協会 構成団体数 1 団体 自主大会及び行事開催回数 合計 0 回 ジャパンレディースレガッタに参加しました。</p> <p>(3) TOGOスポーツクラブ 各小学校において家族体力づくりの日を実施しました。</p> <p>2 スポーツ等指導者育成事業 (1) スポーツ推進委員関係事業 スポーツ推進委員 23 名が、スポーツ振興のために、家族体力づくりの日（毎月第 3 日曜）などの各種スポーツイベントを主管して、町民に対してスポーツの実技指導や助言等を行いました。 コロナ禍において安心して運動ができるように、家族体力づくりの日における感染対策ガイドラインや各小学校区のウォーキングマップの作成に取り組みました。</p> <p>(2) 体力づくり推進委員関連事業 体力づくり推進委員 49 名が地域におけるスポーツ活動振興のため、スポーツ推進委員と連携を取りながら体力づくり活動の指導及びニュースポーツの普及に努めました。また、体力づくり推進委員の資質及び技術向上のため研修を実施しました。</p> <p>ア 体力づくり推進委員前期研修 新型コロナウイルスの影響により中止となりました。</p> <p>イ 体力づくり推進委員後期研修 令和 3 年 2 月 21 日（日）各小学校体育館ほか 内容 TOGO 春のらららスポーツまつりリハーサル 参加者数：体力づくり推進委員 39 人</p> <p>3 スポーツ事業開催事業 (1) 町民ハイキング事業 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。</p> <p>(2) TOGO 春のらららスポーツまつり 誰でも気軽に楽しめるウォーキングを実施することで、定期的な運動習慣を身につけるきっかけづくりを支援し、町民の体力向上と心身の健康保持・増進を図るために開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。（日時：令和 3 年 3 月 21 日（日）、場所：各小学校区）</p>	

【総合評価】

- 1 スポーツ団体育成事業
引き続き、町内のスポーツ関係団体間やスポーツを通じた他分野の各種団体との連携を促進させるとともに、各スポーツ団体の育成も継続して行うことで、魅力あるスポーツイベントが町内で開催されるよう支援していきます。
- 2 スポーツ指導者育成事業
スポーツ指導者の資質向上は、地域スポーツの振興に繋がる重要事項です。今後も効果的な研修会を開催するなど、地域へスポーツを普及させるため、地域のスポーツ指導者を継続的に養成していく必要があります。
- 3 スポーツ事業開催事業
町民ハイキングは、コロナ禍における安全安心な実施方法を検討する必要があります。
TOGO春のららスポーツまつりについても同様に、コロナ禍において安心安全な開催方法を検討する必要があります。

【本年度（令和3年度）以降の改善内容・方向性】

- 1 スポーツ団体育成事業
引き続き、町内のスポーツ関係団体の育成に努めるとともに、スポーツを通じた他分野の各種団体との連携について検討します。
- 2 スポーツ指導者育成事業
引き続き、効果的な研修を開催するなど、地域のスポーツ指導者を継続的に養成していきます。
- 3 スポーツ事業開催事業
町民ハイキングは、コロナ禍でも安全安心に参加していただける実施方法を検討していきます。
TOGOらららスポーツまつりは、気軽に運動習慣を身に付けるきっかけとするために、より多くの人に参加していただける企画を検討していきます。

事業名	スポーツ交流事業
関連する重点施策	(8) スポーツの普及・振興
事業の意図	<p>ニュースポーツの実施を通じて生涯学習としてのスポーツを楽しむとともに、健康の保持増進を図ります。</p> <p>東郷町の代表としての成果を十分に発揮するとともに、スポーツを通じて各市町村との交流を図ります。</p>
【主な実施内容】	
<p>1 愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル事業 主催の愛知県が事業廃止を決定したことに伴い、本町でも事業廃止しました。</p> <p>2 愛知県市町村対抗駅伝事業 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。</p>	
【総合評価】	
<p>愛知県市町村対抗駅伝事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりましたが、本町が派遣する選手の安全確保のため、コロナ禍における安全安心な実施方法を主催者とともに検討する必要があります。</p>	
【本年度（令和3年度）以降の改善内容・方向性】	
<p>愛知駅伝について、今後も引き続き、練習会を開催するなど、町代表チームとして育成強化するとともに、団結力の向上を図ります。</p>	

事業名	体力づくり推進事業														
関連する重点施策	(8) スポーツの普及・振興														
事業の意図	ニュースポーツの実施を通じて生涯学習としてのスポーツを楽しむとともに、健康の保持増進を図ります。														
【主な実施内容】															
<p>体力づくり推進事業</p> <p>(1) 毎月第3日曜日の午前中に町内小学校を開放して家族体力づくりの日事業を行い、ビーチボール、ファミリーバドミントン、ドッチビー、グラウンドゴルフ等を行いました。 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため12回中10回を中止しました。)</p> <p>(2) 「家族体力づくりの日」参加状況</p> <table border="0"> <tr> <td>ア 東郷小学校区</td> <td>106人</td> </tr> <tr> <td>イ 春木台小学校区</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>ウ 諸輪小学校区</td> <td>131人</td> </tr> <tr> <td>エ 音貝小学校区</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>オ 高嶺小学校区</td> <td>130人</td> </tr> <tr> <td>カ 兵庫小学校区</td> <td>41人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>485人</td> </tr> </table>		ア 東郷小学校区	106人	イ 春木台小学校区	51人	ウ 諸輪小学校区	131人	エ 音貝小学校区	26人	オ 高嶺小学校区	130人	カ 兵庫小学校区	41人	合計	485人
ア 東郷小学校区	106人														
イ 春木台小学校区	51人														
ウ 諸輪小学校区	131人														
エ 音貝小学校区	26人														
オ 高嶺小学校区	130人														
カ 兵庫小学校区	41人														
合計	485人														
【総合評価】															
新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった時期もありましたが、参加した町民の皆様が運動の機会を待ち望んでおり、健康の維持増進につながりました。															
【本年度（令和3年度）以降の改善内容・方向性】															
新型コロナウイルス感染症感染対策ガイドラインを徹底した上で、より多くの町民の皆様に安心して参加してもらえるよう周知を図っていきます。															

事業名	体育施設管理事業・総合体育館管理事業
関連する重点施策	(9) 体育施設の整備充実
事業の意図	町内体育施設を利用する人が、安心・快適に利用できるようにします。 総合体育館を利用する人が、安心・快適に利用できるようにします。
【主な実施内容】	
<p>1 体育施設管理事業</p> <p>(1) 体育施設一般管理事業</p> <p>ア 指定管理者制度</p> <p>(ア) 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社</p> <p>(イ) 指定期間 平成30年4月1日から令和5年3月31日まで</p> <p>(ウ) 管理施設 町体育施設(町民運動広場・愛知池運動公園・境川緑地公園第1多目的広場・境川緑地公園第2多目的広場・ふれあい広場ゲートボール場)</p> <p>イ 愛知池運動公園グラウンド外周の漏水配管の修繕を行いました。</p> <p>ウ 愛知池運動公園駐車場用地(7,039㎡)、町民運動広場用地(16,705㎡)及び境川緑地公園用地(982㎡)の借地料を支払いました。</p> <p>エ 町民運動広場駐車場用地996.4㎡を購入しました。</p> <p>オ 施設の利用実績は、合計2,852件(利用者23,611人)でした。</p> <p>(2) 愛知池漕艇場維持管理事業</p> <p>ア ボートハウスの施設管理及び指導を行うため、臨時職員3名を雇用しました。</p> <p>イ 施設の利用状況</p> <p>ボート・施設利用 34件(利用者数 290人)、大会開催数 6回</p> <p>(3) ふれあい広場ゲートボール場維持管理事業</p> <p>ふれあい広場ゲートボール場用地(991㎡)の借地料を支払いました。</p> <p>2 総合体育館管理事業</p> <p>(1) 指定管理者制度</p> <p>ア 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社</p> <p>イ 指定期間 平成30年4月1日から令和5年3月31日まで</p> <p>(2) 武道場及び管理事務室照明のLED化修繕を行いました。</p> <p>(3) 台風で浸水したランニングコースの内壁の修繕を行いました。</p> <p>(4) 換気用網戸を設置しました。</p> <p>(5) 武道場の空調を更新しました。</p> <p>(6) 電話交換器を更新しました。</p> <p>(7) 総合体育館駐車場用地(1,389㎡)の借地料を支払いました。</p> <p>(8) 体育館利用実績は 9,178件、利用者数は107,446人でした。</p>	
【総合評価】	
町内のスポーツ施設を有効かつ効率的に利用できるよう指定管理者とともに検討していく必要があります。	
【本年度(令和3年度)以降の改善内容・方向性】	
老朽化したスポーツ施設について、長寿命化計画に基づき計画的に改修していきます。	

事業名	給食センター管理運営事業
関連する重点施策	(1) 安全・安心でおいしい給食の提供 (2) 食に関する指導の推進
事業の意図	給食センター施設・設備等の適正な維持管理を行い、常に安定稼働させるとともに、安全安心でおいしい給食が提供できるようにします。
【主な実施内容】	
<p>(1) 魅力あるおいしい給食づくり</p> <p>ア 献立委員会や物資選定委員会より出された意見やこれまでの反省等を元に、旬の食材や地元食材を活用した給食を提供しました。</p> <p>イ 運営委員会を開催し、センターの運営について審議しました。 ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面会議としました。</p> <p>(7) 開催日 令和2年6月下旬、令和3年1月下旬</p> <p>(4) 主な内容 令和元年度事業報告、令和2年度事業計画、学校及び保育園の栄養指導計画、給食費の定額制、給食用物資納入登録業者の登録</p> <p>(7) 運営委員 各学校校長、各学校PTA代表、保育園園長代表、保育園父母の会代表、こども健康部長、教育部長</p> <p>(2) 食に関する指導の推進 小学校低学年には食べる姿勢や箸の使い方等を、中学校3年生には栄養素や食習慣等をテーマに指導を行いました。</p> <p>(3) 家庭や地域との連携を密にした給食の推進</p> <p>ア 食育日より「いただきます」を各家庭に配布し、望ましい食生活を啓発しました。 また、読者を増やすため発行月の献立表の裏面に印刷をしました。</p> <p>イ 地場産物の活用に努め、東郷町産の食材を給食に使用しました。</p> <p>(4) 応募献立 児童生徒に給食への関心高めてもらうため、テーマを決め、献立を募集しました。受賞献立については、給食として提供しました。</p> <p>ア テーマ「東郷のめぐみたっぷり！我が家の自慢料理！」</p> <p>イ 受賞献立数 11 献立（小学生 10 献立、中学生 1 献立）</p> <p>(5) 衛生管理の徹底、食中毒防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター内の職員全員（委託業者含む）の検便検査（サルモネラ、赤痢、0-157、冬季はノロウイルス）を月2回実施しました。 ・大量調理施設衛生管理マニュアルに基づく衛生管理のため、保育園のバットを保温保冷バットに更新し、集団食中毒の予防につなげました。 <p>(6) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食調理配送等業務について事業者と契約を行いました。 	
【総合評価】	
給食センターの運営について、効率的な運営、維持管理を行いました。また、大量調理施設衛生管理マニュアルに基づく衛生管理のため、保育園のバットを保温保冷バットに更新し、集団食中毒の予防につなげました。安全安心で日本一美味しい給食に向け、地産地消食材、有機食材を積極的に活用しました。	
【本年度（令和3年度）以降の改善内容・方向性】	
安全安心で日本一美味しい給食の提供に向け、小中学校のバットを保温保冷バットに更新します。また、老朽化が進んだ食缶洗浄機、カートイン消毒保管機の更新、給食センター本館屋上防水補修工事もあわせて行います。	

事業名	小学校給食事業・中学校給食事業
関連する重点施策	(1) 安全・安心でおいしい給食の提供 (2) 食に関する指導の推進
事業の意図	児童生徒の健全な発達に資するため、安全・安心で栄養バランスの取れた魅力あるおいしい給食が提供できるようにします。

【主な実施内容】

- (1) 提供食数 () 内はR元年度実績
 ア 小学校※ 522,589食 (523,845食) イ 中学校 234,035食 (238,289食)
 ウ 合計 756,624食 (762,134食) ※ ハトルとうごう、給食センター職員等
- (2) 献立作成の重点
 ア 家庭の食事で不足しがちなカルシウムに注目し、特に多く含む献立には献立表に骨マークをつけ、食生活の改善に役立てられるよう啓発しました。
 イ 季節感を盛り込めるよう野菜や果物、魚等の食品の使用に配慮しました。
 ウ 年中行事等にちなんだ献立を取り入れ、食文化の啓発と伝承を図りました。
 エ 噛みごたえのある食品を使用して「かみかみメニューの日」を設け、噛むことの大切さを啓発しました。
 オ 児童の食物アレルギー対象食材を除いた「にこにこ給食」を6回実施しました。

(3) 地場産物の使用状況

地場産物の使用を推進し、東郷町産食材を給食で使用しました。(使用食材15品目)
 また、地産地消推進事業として東郷町産食材8品目は、公費により給食を提供しました。

主な食材名	使用月	使用した献立名
ローゼル(※)	10	東郷町産ローゼルトルト
米(※)	6~2	東郷町産お米のタルト、米粉のオムレット、にこにこ米粉カレー他
柿(※)	11	東郷町産柿

※ 地産地消推進事業対象

(4) 有機野菜を使用した給食を実施しました。(使用食材9品目)

主な食材名	使用月	使用した献立名
小松菜	6~3	小松菜の米粉かき揚げ、小松菜と白菜のおひたし他
にんじん	10~3	五目あんかけ、にこにこ米粉カレー他

(5) 残菜量(カッコ内は前年度分)

給食で出た残菜については、給食センターに集め、可燃物として処理を行いました。

ア 合計 6,373kg (前年度分8,296kg)

イ 内訳(カッコ内は前年度分) ※ハトル、給食センターは小学校分としております。

種 別	小学校			中学校		
	食缶 (主に汁物)	バット (主に主菜)	バット (主に副菜)	食缶 (主に汁物)	バット (主に主菜)	バット (主に副菜)
総 量	4,489kg (5,990kg)			1,884kg (2,306kg)		
内 訳	2,452kg (3,195kg)	865kg (941kg)	1,172kg (1,854kg)	882kg (1,178kg)	378kg (342kg)	624kg (786kg)
1食 当たり	4.7g (6.1g)	1.7g (1.8g)	2.2g (3.5g)	3.8g (5.0g)	1.6g (1.4g)	2.7g (3.3g)
合 計	8.6g (11.4g)			8.1g (9.7g)		

(6) 公費負担

- ・令和2年度より学校給食費の定額制を導入しました。(児童3,400円/月、教員等3,700円/月)
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため小中学校が臨時休校したことに伴い、夏季休業期間を短縮して通常授業が行われた期間に給食を提供し、8月の5食分は、保護者の負担軽減を図るため無償化しました。

(7) 町制50周年お祝い給食を6回実施しました。

(8) 県産牛肉等(水産物)学校給食提供推進事業により県から無償提供された県産食材を、お祝い給食等で提供しました。

【総合評価】

(1) 提供食数について

小学校、中学校ともに新型コロナウイルス感染症の影響により4月～5月が臨時休業になり、夏季休業期間を短縮して通常授業が行われ給食が提供しましたが、食数が減少しています。

(2) 献立作成の重点について

給食センターの取り組みを理解してもらえよう、給食だよりだけでなく、学校の校内放送を通じて伝えたり、給食指導の際に直接話をしたりして、理解促進を図っています。

また、昨年度から始めた児童生徒の食物アレルギー対象食材を除いた「にこにこ給食」を実施することで、みんなで食べられる安全・安心な給食を提供しています。

(3) 応募献立について

応募献立は、児童生徒の給食への関心を高めるためのもので、小学生133人、中学生2人の応募がありました。応募献立の実施は、児童生徒が自分の家の味や料理について考える良い機会になっています。

(4) 地場産物や有機野菜の活用について

使用食材の価格や規格、約4,600食分の確保といった問題があります。また、農作物は、天候等の自然的要因を受けやすく、安定した供給が見込めないこともあります。そんな中でも、児童生徒に少しでも安全安心、そして地元の食材を食べることの意義を感じてもらうため、今後も引き続き取り組んでいきます。

(5) 残菜について

残菜量は、前年度と比較して微減となりました。小学校8.6g、中学校8.1g、共に大さじ半分強を一人一人が食べることでなくすることができる残菜量です。喫食状況については、学校単位では残菜量が少なくても、ある学年、クラスだけが大量に残していたりすることもあります。季節によっても食欲の増減があるため、季節ごとに食べやすいメニューを取り入れるなど工夫していきます。

また、献立作成時には献立委員会での意見を反映させ、メニューに応じた味付けの工夫や改善を今後も引き続き行っていきます。

(6) 公費負担について

令和2年度から学校給食費の定額制を導入し給食費の一部を公費負担することで、児童生徒はじめ、保護者の教育費用の負担を軽減しました。また、8月分を無償化することで、保護者の負担軽減を図りました。

【本年度(令和3年度)以降の改善内容・方向性】

引き続き、安全安心で日本一美味しい給食の提供に向け、衛生環境の向上に努めながら、地産地消食材や有機食材を活用していきます。

また、令和2年度から始まった給食費定額制を定着させ、町財政を見ながら段階的に給食費の公費負担割合の拡大を検討していきます。